



2025年3月27日
 パーソルイノベーション株式会社
 パーソルホールディングス株式会社

【パーソル最新調査:企業版】IT デジタル領域のフリーランスや副業人材の 受け入れに関する実態を『lotsful』と共同調査

～デジタルマーケティングの領域で業務委託を活用する企業が47.4%、約9割が成果を実感～

「はたらいて、笑おう。」をグループビジョンに掲げるパーソルホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：和田 孝雄）と、パーソルイノベーション株式会社 lotsful Company（本社：東京都港区、lotsful Company代表：田中 みどり）が運営する副業人材マッチングサービス『lotsful（ロツツフル）』（<https://lotsful.jp/>）は、人事、経営者、ITデジタル関連部門ではたらく会社員1,266名を対象に、企業版・ITデジタル領域のフリーランスや副業人材の受け入れに関する実態調査を実施しましたので、その結果を本日お知らせします。

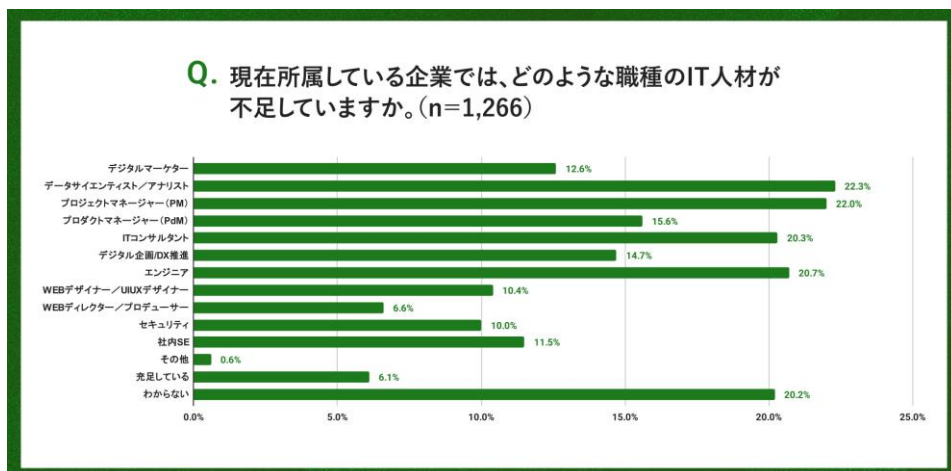


参考：【パーソル最新調査】IT人材にフォーカスした副業実態を調査（前編）
<https://lotsful.jp/news/398>

■調査結果

最も不足しているIT人材の職種は「データサイエンティスト・アナリスト」

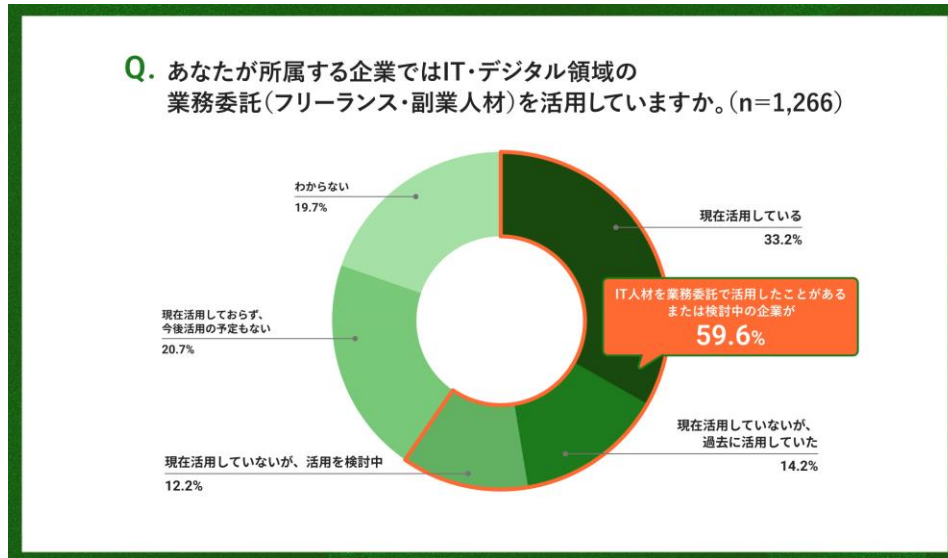
所属企業で不足しているIT人材の職種について尋ねたところ、1位は「データサイエンティスト・アナリスト」（22.3%）、2位は「プロジェクトマネージャー」（22.0%）、3位は「エンジニア」（20.7%）といった結果になりました。



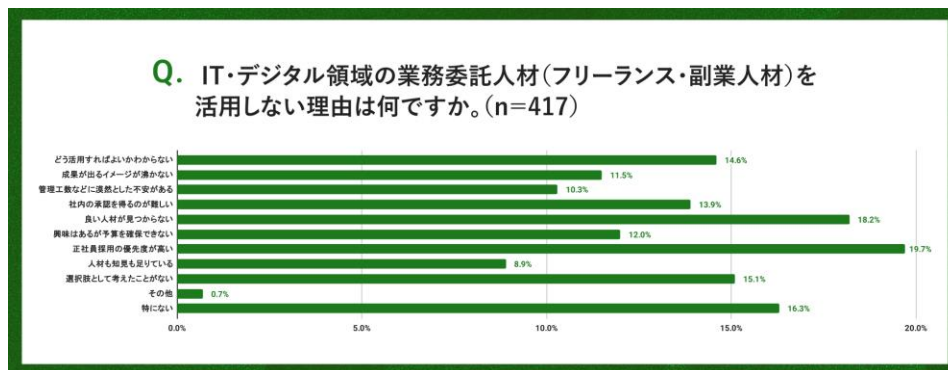
問い合わせ先 パーソルイノベーション株式会社 広報室
 TEL : 03-6757-4259 MAIL : pino_pr@persol.co.jp

ITデジタル領域で業務委託人材を活用したことがある企業が47.4%

所属企業におけるITデジタル領域の業務委託活用について尋ねたところ、「現在活用している」との回答は33.2%、「現在活用していないが、過去に活用していた」との回答は14.2%、「現在活用していないが、活用を検討中」との回答は12.2%、「現在活用しておらず、今後活用の予定もない」との回答は20.7%となりました。全体の47.4%がすでにIT領域での業務委託活用の経験があり、現在検討中の企業も含めると、過半数の59.6%が業務委託活用に関心があることが分かりました。

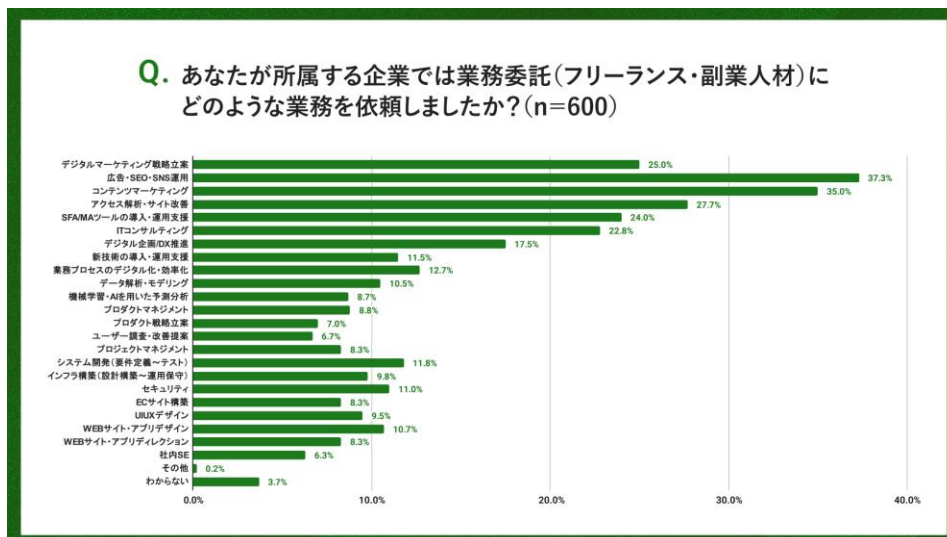


また、「現在活用しておらず、今後活用の予定もない」との回答者に、業務委託人材を活用しない理由について尋ねたところ、「正社員採用の優先度が高い」との回答が最も多く19.7%、次いで「良い人材が見つからない」との回答が18.2%となりました。



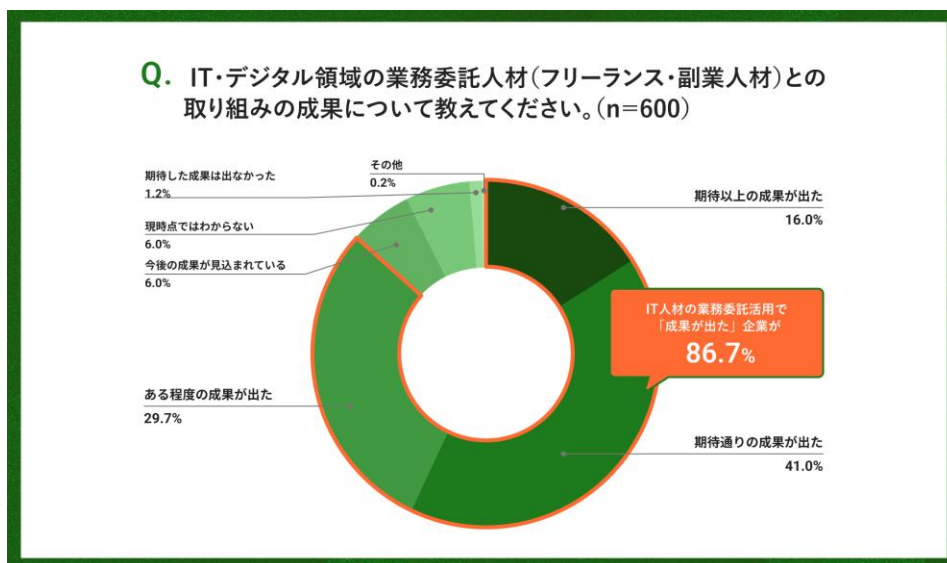
依頼内容のトップは「広告・SEO・SNS運用」、デジタルマーケティングの専門業務が上位に

所属企業におけるITデジタル領域の業務委託内容について尋ねたところ、1位は「広告・SEO・SNS運用」(37.3%)、2位は「コンテンツマーケティング」(35.0%)、3位は「アクセス解析・サイト改善」(27.7%)となり、専門知識が求められるデジタルマーケティング業務を委託する企業が多い結果になりました。



業務委託人材との取り組みで「成果が出た」企業が86.7%

所属企業におけるITデジタル領域の業務委託人材との取り組み成果について尋ねたところ、「期待以上の成果が出た」との回答は16.0%、「期待通りの成果が出た」との回答は41.0%、「ある程度の成果が出た」との回答が29.7%、「今後の成果が見込まれている」との回答は6.0%となりました。全体の86.7%が業務委託人材の支援による成果を実感していることが分かりました。



業務委託人材を活用してよかったこと(企業規模別ランキング)

所属企業におけるITデジタル領域の業務委託活用についてよかったことについて尋ねたところ、全体での1位は「業務効率化が進んだ」(21.2%)、2位は「一時的な人材不足が解消された」(20.2%)、3位は「デジタル活用/DXが加速した」(19.0%) といった結果になりました。

企業規模別でみると、大企業では「業務効率化が進んだ」(23.1%)、中小企業では同率で「一時的な人材不足が解消された」「業務効率化が進んだ」(20.1%)、スタートアップでは「優秀な転職潜在層と接点が多かった」(26.7%) がそれぞれ最多の回答となりました。スタートアップは正社員採用の優先度が高くなる傾向にありますが、業務委託の活用が母集団形成にも有効であることが分かります。

企業規模別 IT人材を業務委託活用してよかったことランキング

大企業	中小企業	スタートアップ
1位 業務効率化が進んだ 23.1%	1位 一時的な人材不足が解消された 20.1%	1位 優秀な転職潜在層と接点ができた 26.7%
2位 一時的な人材不足が解消された 21.2%	業務効率化が進んだ 20.1%	2位 業務委託をきっかけに転職してもらえた 20.0%
デジタル活用／DXが加速した 21.2%	2位 サービスや顧客体験の品質が向上した 18.9%	売上やシェアを拡大できた 20.0%
3位 施策の実行スピードが向上した 20.9%	3位 デジタル活用／DXが加速した 17.0%	施策の実行スピードが向上した 20.0%
	会議や組織が活性化した 17.0%	

業務委託人材を活用して苦労したこと（企業規模別ランキング）

所属企業におけるITデジタル領域の業務委託活用について苦労したことについて尋ねたところ、全体での1位は「マネジメント工数がかかる」（24.2%）、2位は「社内の承認を得ること」（22.0%）、3位は「ゴールや方針のすり合わせに時間がかかる」（21.3%）といった結果になりました。

また、企業規模別で見ると、大企業では「セキュリティ環境やツールの整備」（24.6%）、中小企業では「マネジメント工数がかかる」（23.9%）、スタートアップでは同率で「マネジメント工数がかかる」「コミュニケーションコストがかかる」（26.7%）がそれぞれ最多の回答となりました。

企業規模別 IT人材の業務委託活用で苦労したことランキング

大企業	中小企業	スタートアップ
1位 セキュリティ環境やツールの整備 24.6%	1位 マネジメント工数がかかる 23.9%	1位 マネジメント工数がかかる 26.7%
2位 マネジメント工数がかかる 24.3%	2位 社内の承認を得ること 22.8%	コミュニケーションコストがかかる 26.7%
3位 コミュニケーションコストがかかる 24.0%	3位 請求書作成などの事務作業 20.5%	2位 自社の企業文化に馴染めていなかった 20.0%
		機密情報やデータの開示 20.0%

■ 調査概要

調査手法：インターネット調査（Fastask）

調査対象：経営者、人事、IT・デジタル関連職種ではたらく20代～40代の会社員

調査期間：2025年1月10日（金）～1月17日（金）

対象人数：1,266人

企業属性：大企業：常時雇用従業員数が300人以上の企業

中小企業：常時雇用従業員数が300人未満で、新規事業開発と成長を経営の軸に置かない企業

スタートアップ企業：常時雇用従業員数が300人未満で、新規事業開発と成長を経営の軸に置く企業

大企業の子会社やグループ会社は含まれない

※本調査では、現在の職業が「デジタルマーケター」「データサイエンティスト/アナリスト」「プロジェクトマネージャー（PM）」「プロダクトマネージャー（PdM）」「ITコンサルタント」「デジタル企画/DX推進」「エンジニア」「WEBデザイナー/UIUXデザイナー」「WEBディレクター/プロデューサー」「セキュリティ」「社内SE」のいずれかに該当する回答者を「IT人材」と定義しています。

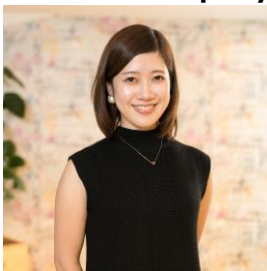
■ パーソルホールディングス株式会社 グループテクノロジー推進本部 本部長 内田 明德 コメント



2025年2月に実施したIT人材の副業実態調査に続き、今回はITデジタル領域のフリーランスや副業人材を受け入れる企業の取り組み実態について調査しました。テクノロジー活用やDXが推進される企業文化をつくるには、一定数以上のIT人材が在籍し“身近にテクノロジーが当たり前”の状態にする必要があると考えており、約半数の企業がITデジタル領域のフリーランスや副業人材を確保していることは非常に興味深いと感じました。

パーソルグループは中期経営計画の中で、経営の方向性を「テクノロジードリブンの人材サービス企業」と掲げ、デジタル化を中心とした生産性の改善やデジタルプラットフォーム事業でのはたらく機会創出に取り組んでいます。今後も、IT人材のはたらく自由を広げることで個人と社会の幸せを広げ、“はたらく Well-being”の実現に尽力していきます。

■ lotsful Company代表 田中 みどり コメント



今回の調査では、業務委託でIT人材を確保したことのある企業の約9割が成果を実感しており、デジタルマーケティングなど、社内の人材育成に時間がかかる専門的な領域で即戦力をすぐに確保できる業務委託が支持されているといえるようです。

また、スタートアップを中心に「業務委託をきっかけに転職してもらえた」などの回答もあったことから、「正社員採用の優先度が高い」事業フェーズにおいても、副業人材の受け入れを検討するメリットはあります。ITデジタル人材の獲得競争がますます激化する今、採用母集団形成の手段としての副業人材活用、また、副業支援を含む社内人材のリスキリング機会の提供が企業にとって重要なポイントになると感じました。『lotsful』では、より多くの企業に副業人材を受け入れていただけるよう、引き続き取り組んで参ります。

■ 利用企業数は 1,700 社超！

3 万件以上の案件を支援してきた副業人材サービス『lotsful』の特徴※2024年6月時点



<副業人材へのメリット> <https://lotsful.jp/>

『lotsful』は企業側の副業受け入れに関する啓蒙を積極的に行っています。事業開発、営業、マーケティング、人事、広報、経営企画など、**ビジネス職を中心に多様な案件**を取り揃えています。これまでの実績やスキルについて、**専任のタレントプランナーが無料カウンセリングを実施**するため、副業未経験者も安心してチャレンジが可能です。原則リモートでチャレンジできる案件がほとんどのため、週に1回・4時間からなど、**柔軟なはたらき方で副業をスタート**することが可能です。

<副業受け入れ企業側へのメリット> <https://lotsful.jp/brand/lp>

スキルアップや事業貢献を目的にした豊富な経験や実績を持つ人材をターゲットにしているため、社内のリソースでは不足している分野に関して、領域ごとに確立・洗練された**事業運営ノウハウを活用**できます。タレントの業務委託費用のみで、業務切り出しのサポートから、副業スタート時の煩雑な契約周りまでパーソルグループの豊富な人材支援ノウハウを活かしたオンボーディングサポートを実施し、契約関連・労務管理等、**副業人材活用の仕組み構築まで支援**します。（契約形態は業務委託となります。）

■「キャリアサークル by lotsful」の特徴



「キャリアサークル」は、『lotsful』が提供する企業人事担当者向けのキャリア支援プラットフォームです。パーソルグループで独自開発した社内向けシステムをベースに、**社内・グループ内の異動や副業に特化した機能**を提供し、公募型異動や企業内副業の求人情報や選考状況の**一括管理、応募、体験の可視化**をシームレスに実現します。3万件の副業マッチング実績をもつ専門コンサルタントが制度設計や風土醸成、社内求人者の要件定義やコンテンツの企画に伴走支援します。

※プレスリリース：<https://lotsful.jp/news/321>

■パーソルイノベーション株式会社について < <https://persol-innovation.co.jp/> >

パーソルイノベーション株式会社は、パーソルグループの次世代の柱となる事業創造を目的として、2019年4月に事業を開始しました。企業のDX組織構築の支援サービスを提供する『TECH PLAY』（テックプレイ）、リスキリング支援サービス『Reskilling Camp（リスキリング キャンプ）』や、コミック教材を活用した研修サービス『コミックラーニング』、副業マッチングサービス『lotsful（ロツツフル）』などを運営するとともに、新たな事業開発や、デジタルトランスフォーメーションを推進、パーソルグループのイノベーションを加速していきます。

■『lotsful』サービスご利用に関するお問い合わせは、以下メールアドレスからお願いいたします
support@lotsful.jp

■パーソルホールディングス株式会社について < <https://www.persol-group.co.jp/> >

1973年の創業以来、人材派遣、人材紹介、アウトソーシング、設計開発など人と組織にかかわる多様な事業を展開。2008年10月に共同持株会社テンポホールディングス株式会社を設立。2017年7月よりパーソルホールディングス株式会社へ社名変更。東京証券取引所プライム市場上場（証券コード：2181）。2024年3月期売上収益1兆3,271億円（IFRS）。